

2023年度【収支計算書】

事業活動収支計算書

(2023年 4月 1日～2024年 3月31日)

単位：円

教育活動収支	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	1,201,743,000	1,201,487,138
	手数料	14,882,000	15,120,000	△ 238,000
	寄付金	145,538,000	149,178,947	△ 3,640,947
	経常費等補助金	49,391,000	67,802,370	△ 18,411,370
	付随事業収入	131,493,000	128,697,487	2,795,513
	雑収入	451,234,000	457,676,218	△ 6,442,218
	教育活動収入計	1,994,281,000	2,019,962,160	△ 25,681,160
	科目	予算	決算	差異
	人件費	1,141,714,000	1,133,220,433	8,493,567
	教育研究経費	800,498,000	773,818,076	26,679,924
	管理経費	399,693,000	347,092,210	52,600,790
	徴収不能額等	0	495,562	△ 495,562
	教育活動支出計	2,341,905,000	2,254,626,281	87,278,719
	教育活動収支差額	△ 347,624,000	△ 234,664,121	△ 112,959,879
教育活動外収支	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金	4,410,000	4,410,000	0
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	4,410,000	4,410,000	0
	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	4,410,000	4,410,000	0
	経常収支差額	△ 343,214,000	△ 230,254,121	△ 112,959,879
特別収支	科目	予算	決算	差異
	資産売却差額	28,000	27,273	727
	その他の特別収入	143,168,000	143,167,024	976
	特別収入計	143,196,000	143,194,297	1,703
	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	13,986,000	14,096,550	△ 110,550
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	13,986,000	14,096,550	△ 110,550
	特別収支差額	129,210,000	129,097,747	112,253
	基本金組入前当年度収支差額	△ 214,004,000	△ 101,156,374	△ 112,847,626
	基本金組入額	△ 95,655,000	△ 4,931,497	△ 90,723,503
	当年度収支差額	△ 309,659,000	△ 106,087,871	△ 203,571,129
	前年度繰越収支差額	△ 5,783,769,397	△ 5,783,769,397	0
	翌年度繰越収支差額	△ 6,093,428,397	△ 5,889,857,268	△ 203,571,129

資金収支計算書

(2023年 4月 1日～2024年 3月31日)

単位：円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,201,743,000	1,201,487,138	255,862
手数料収入	14,882,000	15,120,000	△ 238,000
寄付金収入	263,338,000	266,978,947	△ 3,640,947
補助金収入	49,391,000	67,802,370	△ 18,411,370
資産売却収入	28,000	27,273	727
付随事業・収益事業収入	131,493,000	128,697,487	2,795,513
受取利息・配当金収入	4,410,000	4,410,000	0
雑収入	451,234,000	457,676,218	△ 6,442,218
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	583,749,000	624,471,449	△ 40,722,449
その他の収入	510,833,000	540,467,559	△ 29,634,559
資金収入調整勘定	△ 850,377,000	△ 826,911,446	△ 23,465,554
前年度繰越支払資金	741,939,938	741,939,938	0
収入の部合計	3,102,663,938	3,222,166,933	△ 119,502,995
支出の部			
人件費支出	1,141,714,000	1,133,220,433	8,493,567
教育研究経費支出	479,874,000	452,859,733	27,014,267
管理経費支出	388,074,000	335,931,877	52,142,123
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	32,635,000	30,944,237	1,690,763
設備関係支出	63,020,000	57,402,555	5,617,445
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	445,942,000	442,442,152	3,499,848
資金支出調整勘定	△ 152,410,000	△ 120,927,430	△ 31,482,570
翌年度繰越支払資金	703,814,938	890,293,376	△ 186,478,438
支出の部合計	3,102,663,938	3,222,166,933	△ 119,502,995

貸借対照表

2024年 3月31日現在

単位：円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	5,498,521,118	固定負債	11,613,470
(有形固定資産)	5,294,410,699	流動負債	805,486,005
(特定資産)	0	負債の部合計	817,099,475
(その他の固定資産)	204,110,419	純資産の部	
流動資産	1,151,084,527	基本金	11,722,363,438
		繰越収支差額	△ 5,889,857,268
		純資産の部合計	5,832,506,170
資産の部合計	6,649,605,645	負債及び純資産の部合計	6,649,605,645

財 産 目 録

学校法人ホンダ学園

令和6年3月31日現在

科 目	金 額
一 資 産 額	
(一) 基本財産	5,413,121,842 円
1. 土地	
校地	2,919,536,636 円
2. 建物	
校舎	2,008,715,368 円
3. 構築物	43,922,004 円
4. 教具・工具・備品	316,124,665 円
5. 図書	2,741,830 円
6. その他	122,081,339 円
(二) 運用財産	1,236,483,803 円
1. 預金、現金	890,293,376 円
2. その他	346,190,427 円
合 計	6,649,605,645 円
二 負 債 額	
1. 固定負債	11,613,470 円
(1) 長期未払金	11,613,470 円
2. 流動負債	805,486,005 円
(1) 未払金	128,193,133 円
(2) 前受金	624,471,449 円
(3) その他	52,821,423 円
合 計	817,099,475 円
差引正味財産	5,832,506,170 円

監事監査報告書

令和6年5月23日

学校法人ホンダ学園

理事長 高倉 記行 殿

評議員会議長 殿

学校法人ホンダ学園

監事

鈴木雅文 

監事

大島哲夫 

私たちは、私立学校法第37条第3項、及び学校法人ホンダ学園寄附行為第18条1項4号の規定に基づき、学校法人ホンダ学園の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の業務並びに財産の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人ホンダ学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以上

学校法人ホンダ学園 2023 年度 事業実績報告書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

I. 法人の概要

1. 教育方針

当学園は、創設者 本田宗一郎の次の理念に基づいて、教育を行っています。

<建学の志>

ホンダ学園は世界に歓迎される人間の育成を使命とする

<学園の目的>

チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する

<育成方針>

世界に歓迎される為の・・・

- ・マナーとマインドを磨く
- ・実践第一の技術力を学び取る
- ・社会貢献の心と行動力を育む

2. 設置する学校と学科

(1) 設置する学校

ホンダ テクニカル カレッジ 関東

ホンダ テクニカル カレッジ 関西

(2) 設置する学科と修業年限・定員 (2024 年 3 月 31 日現在)

<ホンダ テクニカル カレッジ 関東>

学科名	修業年限	2023 年度 入学定員	2 年次	3 年次	4 年次	総定員
サービスエンジニア学科	2 年	100 名	100 名	----	----	200 名
一級自動車研究開発学科	4 年	----	----	160 名	160 名	320 名
一級自動車整備学科	4 年	75 名	75 名	----	----	150 名
研究開発学科	4 年	85 名	85 名	----	----	170 名

<ホンダ テクニカル カレッジ 関西>

学科名	修業年限	2023 年度 入学定員	2 年次	3 年次	4 年次	総定員
自動車整備科	2 年	100 名	100 名	----	----	200 名
一級自動車研究開発学科	4 年	100 名	100 名	100 名	100 名	400 名
自動車整備留学生科	3 年	50 名	50 名	75 名	----	175 名

3. 役員、教職員の概要 (2024年3月31日現在)

- (1) 役員 理事：10名 監事：2名 評議員：24名
 (2) 教職員 (嘱託、社会人講師含む)

	教員	職員	合計
ホンダ テクニカル カレッジ 関東	47名	13名	60名
ホンダ テクニカル カレッジ 関西	35名	8名	43名
法人本部	—	7名	7名
合計	82名	28名	110名

II. 事業の概要

1. 2023年度の方針

2023年度は、中長期ビジョンおよび中期方針を定め、事業を推進しました。

<中長期ビジョン>

「移動」と「暮らし」の進化がもたらす豊かな社会の実現に向け
 Hondaの自動車大学校ならではの教育で
 人に喜ばれ、社会に貢献する人材を輩出する

<中期方針>

Hondaのフィロソフィーと企業活動(商品・技術・サービス)を
 ベースとした実践的な技術者教育で、
 時代にマッチした環境/安全の技術進化に追随し、
 グローバルで活躍できる整備士・技術者人材を育成する

この中期方針に基づき、中期重点課題として以下の6項目に取り組みました。

1. 時代にあった教育カリキュラムの確立 (資格取得率 100%)
2. 企業の期待に応える人材の輩出 (就職率 100%)
3. 意欲に溢れた学生の確保 (入学者数 関東 240名 / 関西 180名)
4. 学園の価値を創出する教職員の育成 (従業員活性化 (頑張れば報われる環境) 3.50pt)
5. 職場環境改革 (ICT/インフラ/働き方) (従業員活性化 (働きやすい環境がある) 3.50pt)
6. 永続的かつ安定的な学校経営基盤の構築 (企画進度)

2. 2023年度の事業

(1) 学生の状況 (2024年3月31日現在)

単位：名

	サービスエンジニア学科 (E)		自動車整備科 (W)		一級自動車研究開発学科				一級自動車整備学科 (E)				研究開発学科 (E)				自動車整備留学生科 (W)			合計
	1年	2年	1年	2年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	
関東校	57	78	-	-	-	-	120	123	38	55	-	-	40	48	-	-	-	-	-	559
関西校	-	-	53	76	60	60	53	50	-	-	-	-	-	-	-	-	22	37	69	480
合計	57	78	53	76	60	60	173	173	38	55	0	0	40	48	0	0	22	37	69	1,039

(2) 資格取得の状況

<一級自動車整備士（筆記試験のみの結果・口述試験は 5/12 実施 結果は 5/下旬）>

	受験者	合格者	合格率
関東校	66名	59名	89.4%
関西校	26名	24名	92.3%
合計	92名	83名	90.2%

<二級自動車整備士>

		受験者	合格者	合格率
関東校	ガソリン	175名	175名	100.0%
	ジーゼル	175名	175名	100.0%
関西校	ガソリン	201名	200名	99.5%
	ジーゼル	201名	201名	100.0%
合計		752名	751名	99.9%

<三級自動車整備士（関西校自動車整備留学生科）>

	受験者	合格者	合格率
関東校	-	-	-
関西校	22名	22名	100.0%
合計	22名	22名	100.0%

(3) 就職の状況 <求人数と内定数>

単位：名

	Hondaグループ				Hondaグループ以外		合計
	四輪販社	二輪販社	本田技研	ホンダ関連	自動車関連	その他	
求人数	1,032	104	20	143	1,237	760	3,296
内定者	218	17	17	36	66	19	373
(内定比率)	58.4%	4.6%	4.6%	9.7%	17.7%	5.1%	100.0%

(4) 学生募集の状況

単位：名

	1年生定員 (2024年度)	応募		入学者	
		2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
関東校	260	162	206	144	168
関西校	250	154	217	140	196
合計	510	316	423	284	364

(5) その他の事業実績

- 自動車整備士国家資格合格率は、上記の表のとおりとなりました。
両校合わせての合格率は昨年度とほぼ同等という結果となりましたが、個別試験対策強化や資格取得意欲醸成、増加している留学生への対応など、教育施策の効果が徐々に定着してきており、引き続き全級合格率 100%に向けた取り組みを進めて参ります。また Honda の自動車大学校として「環境」「安全」に関する幅広い知識技術習得を目的とし、電気・電子領域の学びなど更なる教育の充実を図って参ります。
- 就職率は、賛助会企業様を中心にした堅調な求人に支えられ、今期も 100%を達成することができました。
第一志望企業への内定率は目標の 75.0%に対して、88.0%となりました。内定先の内訳としては全体の 58.4%が四輪販売会社への内定となり、Honda グループへの内定は全体の 77.2%を占めることとなりました。
本田技研工業、本田技術研究所の様々な部門から学園生を採用したいという要望が増加してきていると共に、Honda グループ以外の企業様からも多くの求人を頂いております。引き続き、就活セミナーの改善や学生の希望に沿った企業とのマッチングと就職指導の充実を図って参ります。
- 退学率は、目標 3.0%以下に対して、5.4%となりました。
主な退学理由は「進路変更」「成績不振」「意欲喪失」となっておりますが、学生個々の事情を踏まえ、学生に可能な限り寄り添ったサポートを実施し、退学抑制への取り組みを継続して参ります。
- 学生募集による 24 年度の入学者数は、対前年で+80 名の増加となり、関東校で 168 名、関西校で 196 名、合計 364 名となりました。
23 年度に開催したオープンキャンパスへの動員数は、前年比 107%と増加し、入試応募者については対前年で +107 名の増加となり、423 名となりました。
18 歳人口の減少、大学進学率の上昇など、厳しさが増す環境の中、各校にて学生募集戦略を抜本的に見直し、高校訪問強化、販売会社との連携、SNS を活用した認知拡大等の施策を実施して参りました。また、新型コロナウイルス感染症に関する措置の緩和により、大幅に減少していた留学生の入学希望者が増加し、施策の効果と相まって昨年度よりも多くの入学生を迎えることができました。
今後は「入学者数リバイバルプラン」で設定した目標の必達に向け、引き続き様々な施策を展開して参ります。
- 教職員の育成に関しては、管理指標である従業員活性化(頑張りば報われる環境)3.50pt の目標に対して、3.42pt の実績となりました。教職員を育成する機会を拡大させると共に、教職員自らが自身のキャリアを描けるように キャリアデザインモデル策定プロジェクトを継続展開しております。
- 職場環境改革に関しては、管理指標である従業員活性化(働きやすい環境がある)3.50pt の目標に対して、3.54pt の実績となりました。
より効率的な作業環境の構築を目指している学内システムの刷新においては、現状の学事システムに対して実務者へのユーザー要件ヒアリングを実施しましたが、各校に於けるユーザーニーズの違いが大きく、システム機能の整理統合に至りませんでした。進め方を再検討し、24 年度以降に推進して参ります。
学校建屋・設備の新規導入および更新については、期初計画に対して 98.2%の実行率となりました。
- 学校経営基盤の構築に関しては、新たな事業のひとつとして「一級自動車整備士資格取得に対するリカレント教育」のトライアルに取り組みました。
- 学校経営体質の強化に向けては、収支差異目標±15%以内に対して、-4.9%の実績となりました。
引き続き、体質強化に向けた取り組みを推進して参ります。

Ⅲ. その他

新型コロナウイルス感染症に関する措置の緩和に伴い、23 年 5 月以降は感染予防対応を徐々に解除し、それまでに身に付けた衛生習慣を守りながらコロナ禍でできなかった様々な学園イベントを開催してきました。学生が生き活きと学園生活を送れるよう引き続き学園の環境改善に取り組んで参ります。

以上